

MICIR

vol. 26 株式会社メガチップス
2017年3月期上半期のご報告
2016年4月1日～2016年9月30日

2017年3月期上半期のご報告
2016年4月1日～2016年9月30日

MegaChips

株式会社メガチップス

〒532-0003 大阪市淀川区宮原1丁目1番1号 新大阪阪急ビル
TEL.06-6399-2884(代) FAX.06-6399-2886

<http://www.megachips.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



この報告書は植物油インキを
使用して印刷しています。

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなります。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんので、ご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関の三菱UFJ信託銀行にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いします。

株主メモ
決算日 毎年3月31日
定時株主総会 毎年6月
基準日 毎年3月31日
配当基準日 毎年3月31日
この他、取締役会の決議により、
予め公告して基準日を定めることが
できます。

1単元の株式数 100株
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 〒541-8502
お問合せ先 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
電話：0120-094-777(通話料無料)
受付時間：土・日・祝祭日等を除く
平日9:00～17:00

公告の方法 電子公告により行います。
公告掲載URL
<http://www.pronexus.co.jp/koukoku/6875/6875.html>
(ただし、電子公告によることが
できない事故、その他のやむを得
ない事由が生じたときは、
日本経済新聞に掲載します。)

郵便はがき

261-8790

千葉県千葉市美浜区中瀬1-3 幕張テクノガーデンB棟5F

株式会社メガチップス
広報課 ハガキ集計係



差出有効期間
平成29年3月
31日まで
(切手不要)



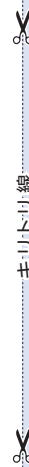
株主様アンケート

お手数ですが、ハガキにご回答の上、ポストへご投函くださいますようお願いいたします。

株主様のプロフィールをご記入ください。

性別：男性 女性
年齢：10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代～
職業：会社員 自営業 公務員 主婦 その他()
当社株式保有数：
単元未満(100株未満) 100-199株 200-299株
300-399株 400-499株 500-999株 1,000株以上
当社株式保有期間：
1年未満 1年以上3年未満 3年以上5年未満
5年以上10年未満 10年以上
居住地：
北海道 東北 関東 中部 近畿 中国 四国
九州・沖縄

※ご記入いただいた情報は、アンケート集計以外の目的には使用いたしません。
※2017年2月28日までに投函ください。



ハガキをご投函の際は、点線にそって切り離してください。



P1 トップメッセージ
P4 Close Up
メガチップスの
Smart Connectivity LSI製品
(DisplayPort)

モバイル・IoT分野向け事業は本格的な成長期へ 中期成長に向けた事業戦略を 着実に進めています。

代表取締役社長 高田 明



上半期業績の概況

**上半期業績は、主に国内顧客の
需要増により前回予想を上回りました。
また、中長期の成長に向けた新規分野が
順調に進展しています。**

2017年3月期上半期の当社は、ゲーム機器、デジタルカメラ、事務機器などのASIC(顧客専用LSI)事業の競争力強化とともに、主に海外の顧客を対象としたIoT分野のASSP(特定用途向けLSI)製品の拡充などを通じてグローバル事業の拡大を加速させました。

業績につきましては、売上高は294億8千1百万円、中長期成長のための海外企業の買収に伴うのれんおよ

び無形固定資産の償却費であるのれん等償却前の営業利益は12億9千6百万円、償却後の営業損失は3千万円、経常損失は1億4千6百万円となりました。また、特別損失として「Macronix International Co., Ltd.」(以下、マクロニクス社)の投資有価証券評価損が10億1百万円発生し、親会社株主に帰属する四半期純損失は16億1千1百万円となりました。

2016年7月29日に公表した2017年3月期上半期連結業績予想では、売上高270億円、営業損失6億円、経常損失7億円、親会社株主に帰属する四半期純損失19億円としていましたが、この**前回予想に対して売上高は上回り、各利益も改善する結果となりました。これは、主にゲームソフトウェア格納用LSI(カスタムメモリ)の需要が想定を上回ったことに加え、他の製品についても想定どおり堅調に進捗したことによるものです。**

中長期の成長分野として取り組んでいるSmart Connectivity LSI (DisplayPort) [詳細は「P4 Close Up 製品紹介 (DisplayPort)」をご覧ください]およびMEMSタイミングデバイスの両事業についても、新製品の開発、米国大手IT企業の大規模主力製品への採用と新規需要の開拓に注力しており、順調に進展しています。

また、マクロニクス社については、当社の事業拡大を

牽引した主力事業の1つであるゲーム機等エンターテインメント機器向けLSIの開発、生産を担う重要な戦略的パートナーであり、この協業関係により、当社創業当初より顧客に高品質のLSI製品を供給することができました。株式取得後も、当社グループから董事(取締役)を派遣し、緊密な人的・資本関係を構築して連携を図っています。なお、これまでに、9億8千3百万円の現金配当、6千4百万円の株式配当、10億6千5百万円の株式売却により、当初の出資金額をほぼ回収しています。

中期事業戦略の進捗と展望

**モバイル・IoT分野向けのASSP事業
は本格的な成長期へ。
ASIC事業においても顧客の開発課題に
積極的に応えることで顧客ベースを拡大。**

当社は、安定した事業基盤である国内優良顧客向けASIC事業に加え、成長市場で高い競争力を持つASSP事業を大きく伸ばしていくことを目指しています。そこで、モバイル、ウェアラブル機器を含むIoT分野の成長機器市場において、有力なグローバル顧客を対象としたビジネスを推進し、成長を図ることを中期の事業戦略として掲げています。

ASIC事業では、ゲーム機器、デジタルカメラ、事務機器、通信機器などの既存分野における国内外の有力顧客に向けて、競争力を磨き個々のアプリケーションに最適な顧客専用LSIを提供するとともに、応用分

野の拡大により顧客ベースを広げることで強化を図っています。さらに、下半期には新たな製品供給の開始も予定しています。**これまでのASIC事業の主力分野に加え、独自のIP(設計資産)、アナログ技術を強みにFA、ロボティクス、車載などの産業機器分野における事業展開を始めました。**



用語解説

KEYWORD

ASIC(顧客専用LSI)・ASSP(特定用途向けLSI)▶顧客の用途に合わせて開発されたオーダーメイドのLSIを「ASIC(顧客専用LSI)」といいます。一方、特定の用途に特化し、複数の顧客に提供する自社ブランドの標準LSIを「ASSP(特定用途向けLSI)」といいます。

IoT▶[Internet of Things]の略。情報・通信機器をはじめ、日用品、家電、建物、クルマなど、世の中のさまざまな“モノ”をネットワークにつなぎ、相互に通信・制御する仕組みや技術を指します。

ゲームソフトウェア格納用LSI(カスタムメモリ)▶ゲーム機器のゲームソフトウェア(カートリッジ)に内蔵されているメモリ部品のことで、ゲームプログラムの情報の記憶に使われます。

ウェアラブル機器▶ウェアラブルは「身につける」。つまり腕や頭などに装着し、各種情報を記録・送信する端末のこと。腕時計型やリストバンド型、メガネ型などが登場しています。

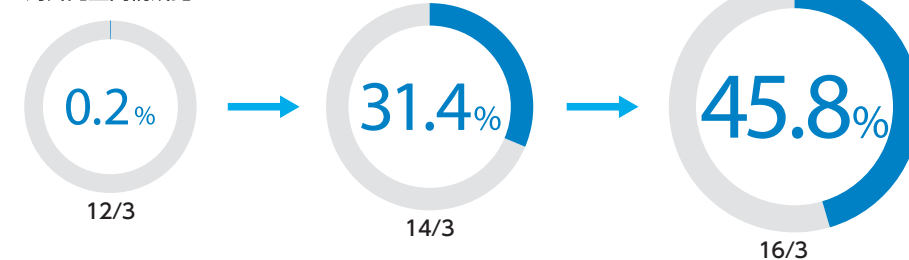
FA▶[Factory Automation](工場自動化)の略。工場における作業・工程を機器やシステムを用いて自動化すること。生産性向上、品質の均一化、機器故障やライン停止の未然防止などのメリットがあります。

ロボティクス▶センサ、人工知能(AI)など、ロボットに関する技術研究のこと。将来的な労働力不足が予想される中で各分野へのロボット導入は不可欠とされており、市場拡大が見込まれています。

事業ポートフォリオ変革の進展

海外顧客へのASSP製品販売拡大により事業ポートフォリオを強化

海外売上高構成比



**ASSP事業・ASIC事業
を両輪に、引き続き
国内外の顧客開拓を
推進し、事業の成長と
安定を両立へ**

2017年3月期上半期業績および通期業績予想(単位:百万円)

2017年3月期	上半期		通期 予想
	実績	予想	
売上高	29,481	27,000	60,000
のれん等償却前営業利益	1,296	800	4,100
のれん等償却*	1,326	1,400	2,900
のれん等償却後営業利益	-30	-600	1,200
経常利益	-146	-700	1,000
親会社株主に帰属する当期純利益	-1,611	-1,900	-800
1株当たり当期純利益(円)	-75.21	-88.67	-37.33

(2017年3月期 想定為替レート:米ドル110円)

*積極的に行った海外企業買収に伴う、のれん、無形固定資産の償却。

ASSP事業では、Smart Connectivity LSI (Display Port)とMEMSタイミングデバイスに注力しています。DisplayPortは、多用途性、拡張性、広帯域A/Vデータ伝送などの機能を実現する映像インターフェイス規格です。米国の大手IT企業や大手CPU供給メーカーとの緊密な関係をベースに事業を拡大しています。**標準規格として市場の拡大が見込まれる「USB Type-C」向けの採用が国内外ですでに始まっており、さらに製品ラインナップを拡充すべく開発投資を行っています。**

次に、MEMSタイミングデバイスは、正しい時間と速度で電子機器を動作させるための基準信号(クロック)を生み出す部品であり、あらゆる電子機器に用いられています。当社のタイミングデバイスはシリコンを材料としており、これまで70年間主役であった水晶を用いたものを凌駕する性能・サイズを実現しました。そのためモバイル、ウェアラブル機器に最適なデバイスとして採用が急速に広がっています。

さらに、MEMSタイミングデバイスの新たな市場を獲得するため、振動や急激な温度変化に対し、水晶製品よりはるかに高い安定性を実現する製品を発表しました。この製品は、厳しい環境の中で高い性能と安定性が要求される携帯基地局や通信基幹網等の情報通信ネットワーク装置向けや自動運転などの車載向けとして2017年度からの供給に向けて準備しています。

このように、当社はグローバルに勝ち残る企業を目指し、ASIC事業とASSP事業を両輪として、IoT分野、通信インフラ分野、車載・産業機器分野を中心に新製品の積極的な投入を推進します。事業構造転換によって、さらなる事業拡大と持続的成長を図り、営業利益率の向上と高成長・高収益体質の実現に取り組みます。また、株主の皆様への積極的な利益還元を努め、株式価値と資本効率の向上に努めてまいります。

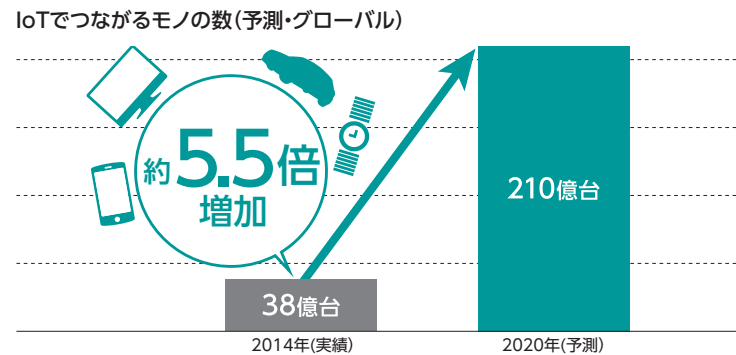
皆様には、引き続きご支援とご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

ASSP事業のターゲット市場=IoT

モノがインターネットにつながる時代にキーとなるデバイスを提供

パソコンやスマートフォンに加え、ウェアラブル機器や車載機器、医療機器、産業機器など、あらゆるモノがネットワークにつながる時代。このIoT時代が本格到来し、つながるモノの数はますます増え続けていくと考えられています。

このIoT分野をターゲットに、メガチップスはグローバル市場の開拓を加速しています。



出典:Gartner "Forecast Analysis: Internet of Things — Endpoints, Worldwide, 2015 Update" Peter Middleton et al, 15 December 2015
ガートナーのリサーチを元にメガチップスにて図表を作成。

※ここに述べられたガートナーのレポート(以下「ガートナーのレポート」)は、ガートナーの配信購読サービスの一部として顧客向けに発行されたリサーチ・オピニオンもしくは視点を表したものであり、事実を表現したものではありません。ガートナーの各レポートは、レポート発行時点における見解であり、この説明資料発行時点のものではありません。また、ガートナーのレポートで述べられた意見は、事前の予告なしに変更されることがあります。

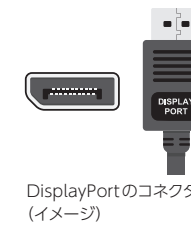
Close Up メガチップスのSmart Connectivity LSI製品(DisplayPort)

次世代の映像伝送を支えるDisplayPort。USB Type-Cの登場がさらなる追い風に。

現在、主流となっているテレビに比べて高精細で美しい映像を実現する4Kや8Kの登場。スマートフォンやモバイル機器へのUSB Type-Cの搭載。インターネットTVの普及に伴う大容量・高解像度データの配信サービスの増大。これらの新しい動きにより拡大が見込まれているのが「DisplayPort」です。

シンプルな接続で美しい映像伝送を実現し多くのモバイル機器やディスプレイに搭載

DisplayPort(以下DP)とは、今後加速する大容量の映像や音声のデータを機器から機器へ、また機器内で液晶パネルに転送するために用いられる映像ディスプレイの入出力インターフェイスの規格です。



メガチップスが手がけるDP製品は、PC、ゲーム機、AV機器、モニタなどの映像/音声の出力元・入力先をはじめ、スプリッタ(分配器)、コネクタなどの中に入れており、**その信頼性や品質の高さから多くのモバイル機器やディスプレイ製品に採用されています。**たとえば街中で見かけることのできたデジタルサイネージ(電子広告)をはじめ、医療用モニタ、アミューズ施設でのゲーム用モニタなどにも使われています。

今後のUSB Type-C普及によってさらなる拡大が見込まれるDisplayPort

DPの今後の展望を語るうえで欠かせないのが、新しいUSB規格「USB Type-C」の登場です。USB Type-Cは、昨年発売されたApple社のPCに採用されたことで注目を集めました。ケーブルの裏表どちらを差し込んでも動作するリバーシブル構造を持つほか、映像・データ・電力を1本のケーブルで転送できるためコネクタの種類を減らすことができ、従来のACアダプタジャックやHDMIなどの大きなコネクタも必要ありません。通信速度や耐久性の向上も実現しており、ノートPCやタブレット端末、スマートフォンにおける普及が世界的に進んでいます。

このUSB Type-Cのコネクタを介して映像を伝送するための規格がDisplayPortです。**メガチップスはDisplayPortのリーディングカンパニーとして幅広い製品を有しています。**



DPIは、1つのPCから複数のモニタにつなげることができ、高解像度データのシンプルな接続を実現します。

DisplayPort製品の用途

- デスクトップPC
- ノートPC
- モニタ
- モバイル機器
- 4K/8K テレビ
- プロジェクタ
- デジタルサイネージ

当社ホームページで「創業者ヒストリー」を掲載しています
<http://www.megachips.co.jp/company/founder/index.html>

数々の“世界初”や“業界初”を生み出し、メガチップスをわずか8年で上場するほど大きく成長させた創業者「進藤 晶弘(しんどう まさひろ)」。子ども時代から始まり、社会人としての成長や転機、任天堂との運命的な出会い、半導体産業に一石を投じたメガチップス創業、東証一部上場に至るまで、その挑戦の歴史をホームページでご紹介しています。



株主様アンケートのご報告

「MCCIR vol.25」誌上のアンケートに対し、1,720名の株主様からご回答いただきました。誠にありがとうございます。株主様からお寄せいただいた貴重なご意見は、今後の経営およびIR活動に活かしてまいります。

株主様の声

- 「社長が語る業績と戦略」は要所にマーカが引いてありわかりやすかった。
- 「社長だけでなく事業部門トップの説明も読みたい。」
- 「財務ハイライトは見やすくわかりやすい。」
- 「東京地区での株主向け説明会を検討してほしい。」
- 「毎回、何か1つの製品について紹介してもらえるとますます理解が深まると思う。」
- 「ダイバーシティ推進の記事が興味深かった。」
- 「女性活躍への取り組みをこれからも応援したい。」
- 「株価推移表と配当金推移表を記載してほしい。」

トピックス

日経IR・投資フェアに参加

2016年8月、個人投資家向けの大規模IRフェアの1つである「日経IR・投資フェア」(日本経済新聞社主催)に参加し、関東にお住まいの個人株主様、個人投資家の方を中心に、コミュニケーションを図りました。

当社のブースでは会社の概要や強み、主要製品などを紹介し、多くの方にご見学いただくとともに、事業や製品の展開に関する質問やご意見など、貴重な声をお聞かせいただきました。

今後も中長期的な企業価値向上のために、株主・投資家の皆様との建設的な対話を進めていきます。



今後の活動予定(IRカレンダー)

2017年

2月2日
第3四半期決算発表

5月上旬
通期決算発表

6月上旬
招集通知送付/
配当金支払・優待品送付開始

6月下旬
定時株主総会開催

最新の決算情報は「IR資料室」の「最新決算報告」ページでPDF資料を含めご覧いただけます。

メガチップス 最新 検索

<http://www.megachips.co.jp/irinfo/resource/account.html>



株主総会に関する情報は「株式情報」の「株主総会」ページですべてご覧いただけます。

メガチップス 株主総会 検索

<http://www.megachips.co.jp/irinfo/stockinfo/meeting.html>

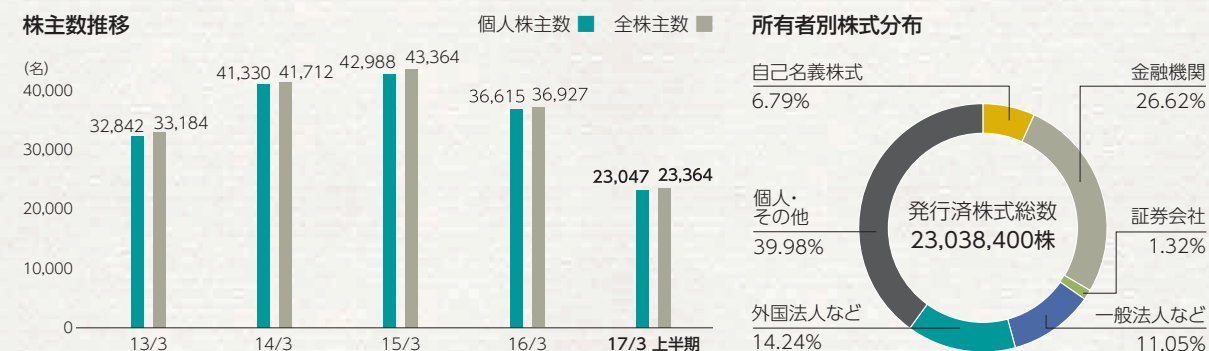


※予定が変更になる場合があります

会社概要(2016年9月30日現在)

会社商号	株式会社メガチップス	所在地	本社	〒532-0003 大阪市淀川区宮原1丁目1番1号 新大阪阪急ビル
英文商号	MegaChips Corporation	TEL.	06-6399-2884 (代表)	
設立	1990年4月4日	東京事業所	〒102-0082 東京都千代田区一番町17番地6 一番町MSビル	
上場	東証1部(証券コード6875)	幕張事業所	〒261-8501 千葉市美浜区中瀬1丁目3番地	
資本金	4,840百万円	主な海外拠点	MegaChips Technology America Corporation SiTime Corporation MegaChips Taiwan Corporation Modiotek Co., Ltd. MegaChips Corporation, China MegaChips Corporation (India Branch)	
従業員数	864名			
事業内容	システムLSI、自社システムLSIを使った電子部品およびシステム製品の設計・開発・製造(外部委託)・販売			

当社の株主構成



IR活動の充実に向け株主様アンケートにご協力ください

(2017年2月28日)まで受付

- アンケートにご協力いただきありがとうございました。
- Q1. 株主通信「MCCIR」vol.26の内容で、興味を持たれた記事・コーナーをお選びください。(複数回答可)
- P1-3 トップメッセージ
 - P4 Close Up 製品紹介(DisplayPort)
 - P4 創業者ヒストリー掲載
 - P5-6 株主様ラウンジ
- Q2. 今後、詳しく掲載を行ってほしい情報は何か。(複数回答可)
- 経営者メッセージ
 - 経営方針
 - 中期経営計画
 - 業績・財務情報
 - 事業内容
 - 新技術情報
 - 配当
 - CSR情報
 - その他 ()
- Q3. 今後強化してほしいIR活動・ツールは何か。(複数回答可)
- 当社ホームページ
 - MCCIR (株主通信)
 - 個人投資家説明会
 - IRフェアへの出展
 - 株主総会
 - IR雑誌や新聞への掲載・広告出稿
 - その他 ()
- Q4. 当社ホームページをご覧になったことはありますか?
- ある ない
- Q5. 株主通信「MCCIR」のご感想またはIR活動へのご要望をお聞かせください。